

第4学年 国語科学習指導案

平成27年10月7日(水) 第5校時

1 単元名・教材名 目指せメモリーズ！聞き取りメモを工夫して、友達の〇〇を伝えよう！
「聞き取りメモの工夫」

2 児童の実態と本単元の意図

本学級の児童は、これまでに、「ともこさんは どこかな」(第2学年)、「よい聞き手になろう」(第3学年)の学習を通して、大事なことをメモに取ることや話の中心を聞き取ることを学び、「聞くこと」の力を育んできた。総合的な学習の時間で話を聞く際に熱心にメモを取る姿勢や、朝の1分間スピーチで積極的に質問をしようとする姿に学びの成果が見られるようになってきている。

今回の学習の中心である「メモを取る」ことに関しては、①何をメモしたらよいか分からない児童、②聞き取った言葉をひたすらメモしてしまい、何をメモしたのかが分からなくなってしまう児童、③書き取りのスピードが遅く、聞いたことをメモすることができない児童が見られ、メモの仕方を工夫したり、話を聞きながら自然にメモを取ったりする等、実生活の中でメモを活用する段階には至っていない。一方で、新出漢字の学習や国語の学習の際に、教師が呟いた豆知識や注意点などをノートの余白にさっとメモする児童も少数であるが見られる。自分の生活にメモを取ることを生かそうとする児童を称賛し、学級全体に広めていきたいものである。

本教材「聞き取りメモの工夫」では、大事なことをメモに取りながら聞くことを通して、メモの有効性を感じたり、目的に応じたメモの取り方を学んだりすることができる。児童が実生活の中でメモを取るときは、買い物、電話、社会科見学、様々な学習、連絡帳に書く、心を動かされた話を聞いたときなど多岐にわたる。これらのメモは、「自分のために記録するためのメモ」と「誰かに伝えるために記録するメモ」に分類することができるだろう。目的により、「正確に記録し覚えておくためのメモ」や「心に残ったことを記録し、実生活に活かしていくためのメモ」など、メモの取り方や活用方法が変わってくることを実感させ、自分に合ったメモの取り方を探すきっかけの学習になるようにしていきたい。

メモを取ることは、話の内容を聞きながら大事な事柄かどうか判断する力、短くまとめる力、素早く書く力など、いくつもの高度な力を要する活動であると考えられる。児童の実態に応じて、学習の困難さを少なくするための手引きを作成し、無理なく少しずつメモを取ることを伸ばしていきたい。

児童の実態や教材の特性から、特に児童に身に付けたい力を、「目的に応じて大事な点に注意して聞き、必要な事柄をメモする力」と「様々なメモの取り方に気づき、工夫してメモを取ろうとする力」の二つとする。

指導にあたっては、次の三つの段階で学習を展開していく。

第一次では、まず、メモを取りながら先生のスピーチを聞き、メモのよさや難しさについて話し合う活動を取り入れる。話合いを通して、身に付けたい聞くことの力を確認し、「聞き取りメモを工夫して『4-1メモリーズ本』を作ろう」という単元を貫く言語活動を設定する。『メモリーズ本』とは、4年生の3学期に行う1/2成人式で保護者に見せる4年生の思い出をまとめた本のことである。国語科の学習で作った詩や学習記録を十歳の記念として一冊にまとめ、成長の記録として自分と家族の記念品にしたいと考えている。

今回の学習では、その中の「1分で分かる？友達紹介コーナー」を作成することを確認

し、朝の会で行っている1分間スピーチを聞いて、友達について保護者に紹介したいことをまとめる1ページを作っていく。1分間スピーチは、毎日行われている活動のため、継続的にメモを取る力を育むことができるということと、4年生になり、友達のことを家であまり話さなくなってきたので、学校のことを知りたいという保護者の思いに応えることができることという二つの利点があると考え、聞くことの力を育む「実の場」として設定することにした。『メモリーズ本』の作成は、学級活動の時間を活用して行っていくこととし、メモの取り方の工夫については国語科の学習で学んでいくことにする。教師作成の『メモリーズ本』の1ページを見せ、学習の見通しがもてるようにしたい。

第二次の本時では、教師のスピーチを聞いてメモを取る共通体験を通して、聞き取りメモのこつを導き出していく。メモのこつをグループでまとめる活動を通して、聞こえてきた言葉を書く段階から、意識して積極的に聞き取って書こうとする姿勢を育んでいきたい。本時を受けて、第4時では、様々な場面を想定して、メモを取る活動を体験する。場面や目的によって、メモの取り方が変化することを実感することができるよう、場の設定を工夫していきたい。ここで体験する教師のスピーチを聞いてメモを取る活動も、『メモリーズ本』の1ページにつながるようにする。『メモリーズ本』作りの一環としてメモのこつを見つける活動があることを意識させ、意欲的に取り組むことができるようにしたい。

第三次では、『メモリーズ本』の1ページを作るために、聞き取りメモを工夫しながら友達の1分間スピーチを聞く活動を行う。1分間スピーチのテーマは、「聞いて！わたしの夢」、「今、これが大好き」、「〇〇のひみつ教えます」、「おすすめの一冊は、これ」、「わたしの1週間の〇〇」の中から話したいと思う内容を選ぶことができるようにする。話し手が生き生きと話し、聞き手にとって分かりやすく話すことができるように、テーマごとに話し方の手引きを作成し活用することができるように準備しておきたい。聞き取りメモについても、児童の話合いをもとに作成した数種類のメモ用紙を用意しておき、児童の実態に応じて活用することができる環境を整えておくようにする。今回は、聞きながらメモを取る力を育む学習であるため、スピーチ内容は、あらかじめ文章化しておき、メモした内容と話した内容を照らし合わせるようにしたい。6時間の学習が終わっても、『メモリーズ本』作りは、3学期まで続いていくものとし、友達全員の紹介ページを作成することができるようにしていきたい。

3 単元の目標

- (1) 必要なことを聞き取り、工夫してメモを取ろうとしている。
(関心・意欲・態度)
- (2) 自分の目的に応じて大事な点に注意して聞き、必要な事柄についてメモすることができる。
(話すこと・聞くこと)
- (3) 目的に応じて漢字と仮名を使い分けたり記号を用いたりすることができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

4 単元の評価規準と学習活動に即した評価規準

	ア 国語への関心・意欲・態度	イ 話す・聞く能力	オ 言語についての知識・理解・技能
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて必要なことを聞き取り、工夫してメモを取ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の目的に応じて大事な情報を考えながら聞くことができる。 ・自分の目的に応じて話を聞き、必要な事柄についてメモすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて、漢字と仮名を使い分けてメモすることができる。
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ①『メモリーズ本』を作ることに興味をもち、聞き取りメモを工夫して、話を聞こうとしている。 ②大事なことを落とさないための聞き取りメモの工夫について考えようとしている。 ③聞き取りメモを工夫しながら話を聞き、情報を整理したり感想を書いたりしようとしている。 ④学習前の自分と今の自分を比べて、これからの生活に活かしていきたいことを考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①友だちのメモと自分のメモを比較して、話を聞きながらメモを取る時の工夫についてまとめている。 ②話を聞きながら、自分にとって大事なことについて工夫してメモを取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①目的に応じて、漢字、仮名を使い分けたり、記号を用いたりしている。

5 指導と評価の計画（全6時間）

時	主な学習活動	学習内容	評価規準・評価方法
第1次 単元の終わりを思い描く			
1 2	<ul style="list-style-type: none"> ○メモを取った経験を思い出す。 ○教師の1分間スピーチについてメモを取り、メモについて話し合う。 ○学習課題「聞き取りメモを工夫して『4-1メモリーズ本』を作ろう」を、確認し、学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○メモを取る場面・目的・よさについての想起 ○メモを取るときの課題点 ○単元の見通し ○「メモリーズ本」の内容 ○相手意識…親・未来の自分 目的意識…親に自分の友達の○○を伝えるため (1/2成人式の記念品) 	ア① <ul style="list-style-type: none"> ・発表の様子や態度の観察 ・ノートの記述内容の考察

第2次 育みたい力を教材で理解する			
③ 本時	○教師の1分間スピーチについてメモを取りながら聞き、整理したり感想を書いたりする。(メモリーズ本作り①) ○グループでメモの取り方を比べ、メモの取り方のコツをまとめる。	○メモの取り方の比較 ○メモの取り方の工夫 ・短い言葉・記号の活用 ・箇条書き・平仮名・印	ア② イ① オ① ・話合いの様子や態度の観察 ・メモの記述内容の考察
4	○様々な場面を想定し、目的に合ったメモの取り方について話し合う。	○目的に合ったメモの取り方 ・自分のため、誰かに伝えるため ・知っている内容・知らない内容	オ① ・話合いの様子や態度の観察 ・ノートの記述内容の考察
第3次 育みたい力を活用する			
5	○友達との1分間スピーチについてメモを取りながら聞き、整理したり感想を書いたりする。(メモリーズ本作り②)	○メモの取り方の工夫 ○メモリーズ本の書き方 ○メモの活用方法	ア③ イ② オ① ・発表の様子や態度の観察 ・メモの記述内容の考察
学活	○メモを活用して「メモリーズ本」の1ページを作成する。(メモリーズ本作り③)	○メモの活用	
6	○「メモリーズ本」の1ページを紹介し合い、学習について振り返る。	○学習の振り返り ・学んだこと ・出来るようになったこと ・これからの生活に生かすこと	ア④ ・発表の様子や態度の観察 ・ノートの記述内容の考察

6 本時の学習指導 (本時3/6時)

(1) 目標

○自分と友だちのメモを比べて、大事なことを落とさないための聞き取りメモの工夫についてまとめることができる。

(2) 評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 話す・聞く能力	オ 言語についての知識・理解・技能
大事なことを落とさないための聞き取りメモの工夫について考えようとしている。	友だちのメモと自分のメモを比較して、話を聞きながらメモを取る時の工夫についてまとめている。	目的に応じて、漢字、仮名を使い分けたり、記号を用いたりしている。

(3) 展開

学習活動	学習内容	指導と評価の創意工夫	時間
<p>◆ひびきタイム 「忘れもの」 「ぼくは川」 「自分の作った詩」</p> <p>1 前時で出てきたメモを取る時の課題を確認し、本時の学習課題をつかむ。</p>	<p>○リズム ○抑揚 ○情景を思い浮かべながら発表すること</p> <p>○学習課題の把握 ○学習の見通し</p>	<p>・友達の発表のよさを見つけながら聞く雰囲気作りを大事にする。</p> <p>・児童から出されたメモを取る時の課題を国語コーナーに掲示しておき、本時の学習課題につなげるようにする。</p>	<p>3</p> <p>5</p>
<p>自分と友達のメモを比べて、どんなメモを取ればよいか考えよう</p>			
<p>2 メモを取りながら教師の1分間スピーチを聞き、感想を書く。</p>	<p>○メモの取り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大事なこと・話の中心 ・相手意識…親 ・目的意識…先生の○○を紹介するため 	<p>・この話も、『メモリーズ本』の1ページにするということ伝え、相手意識と目的意識をもつことができるようにする。</p>	<p>5</p>
<p>3 自分のメモと友だちのメモを比べて、メモの取り方の工夫について話し合う。</p>	<p>○交流の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ（4、5人） ・共通点→みんなの工夫 ・相違点→付け加えたい工夫 <p>○メモの取り方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短い言葉・記号の活用 ・箇条書き・平仮名・印 ・聞き取れなかった場合 ・縦書き、横書き ・見出し など 	<p>・「交流の手引き」を用意し、話し合いを活発に行うことができるようにする。</p> <p>評価場面 〈評価規準〉ア②イ①オ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの様子や態度の観察 ・メモの記述内容の考察〈手立て〉 ・十分に話し合っている児童（グループ）には、メモ用紙の工夫や話の内容に応じたメモの取り方について考えてみるよう助言する。 ・話し合いがうまく進まない児童（グループ）には、工夫したメモの例を見せ、着目する点を一緒に探しながら、メモの工夫を考えられるように助言する。 	<p>15</p>

<p>4 全体で発表し合い、取り入れたいメモの取り方の工夫を「メモリーズのこつ」としてまとめる。 (個人)</p>	<p>○「メモリーズのこつ」のまとめ方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短い言葉で書く！ ・箇条書きで書く！ <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いつでも意識して使うことができるように、自分で選んでまとめるようにする。 ・個人差があるため、3～5つ選んでまとめるようにする。 	<p>10</p>
<p>5 メモのこつを生かして、再度教師の1分間スピーチを聞く。</p>	<p>○学習内容の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短い言葉で書くこと ・箇条書きにすること ・記号を使うこと <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「メモリーズのこつ」を意識しながら、メモを取り、聞き取り方が変わることを実感させる。 	<p>4</p>
<p>6 本時のまとめと振り返りをする</p>	<p>○振り返りの観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学んだこと ・分かったこと ・できるようになったこと <p>○次時の見通し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習課題に対する振り返りの観点を明確にし、学習前後の自分の変化に気づきやすくする。 ・学習計画表を見て次時の学習を確認し、単元の見通しをもたせるようにする。 	<p>3</p>